

令和2年度（公社）砂防学会北海道支部研究発表会 ／砂防学会北海道支部奨励賞受賞講演

日時：令和2年（2020年）11月6日（金）14:30～17:25

会場：北海道大学農学部総合研究棟1階 W109号教室

支部会員の皆様の日頃の研究に関する情報交換を目的に、令和2年度（2020年度）研究発表会を開催しました。発表会は8件なされ、日頃の研究成果を持ち寄り、活発な議論がなされました。北海道胆振東部地震に伴う土砂災害に関連する発表が4件あり、有意義な情報交換がなされました。このほか砂防学会北海道支部奨励賞受賞を受賞した株式会社シン技術コンサルの澤田雅代さんより「大規模な土砂移動が発生した扇状地河川における砂防調査と計画ー2016年台風10号によるペケレベツ川を例にー」をタイトルに受賞講演をいただきました。新型コロナ対策を行いながらではありましたが、大学、研究機関、行政機関、民間から約40名の参加者があり、活発な議論がなされました。



新型コロナ対策

会場の様子

支部長による発表



本研究発表会の参加により、（公社）砂防学会CPD認定プログラム3.50単位が認められます。

プログラム

14 : 30～14 : 35 支部長開会あいさつ

14 : 35～14 : 50 ○厚井高志（北海道大学）、権田豊（新潟大学）
キラウエア 2018 年噴火時の防災対応とわが国の溶岩流対策の方向性

14 : 50～15 : 05 ○桂真也、関根猛*（北海道大学）（*：現・日本工営株式会社）
活発な移動を示す地すべりの移動量と相関の強い水文量の検討

15 : 05～15 : 20 ○田中健貴（北海道大学）
斜面土層内の水みちが斜面安定に与える影響に関する実験

15 : 20～15 : 35 ○山田孝、片山和紬（北海道大学）
土石流先端部に形成される流木塊の運動特性と規模、形成プロセス

15 : 35～15 : 45 （休憩）

15 : 45～16 : 00 ○早川智也ら（日本工営株式会社）
平成 30 年北海道胆振東部地震に伴い発生した表層崩壊の特徴について

16 : 00～16 : 15 間片大地、山田孝（北海道大学）
地震に起因した火山灰堆積斜面崩壊による崩土の長距離移動実態の解明
～2018 年 9 月北海道胆振東部地震による厚真町の事例～

16 : 15～16 : 30 ○村上泰啓、水垣滋、藤浪武史（寒地土木研究所）
平成 30 年北海道胆振東部地震における総崩壊地箇所数及び面積について

16 : 30～16 : 45 ○青木稔弥ら（北海道大学）
平成 30 年北海道胆振東部地震により崩壊が多発したテフラ堆積斜面の降雨浸透特性

16 : 45～17 : 05 【砂防学会北海道支部奨励賞受賞講演】
澤田雅代（（株）シン技術コンサル）
大規模な土砂移動が発生した扇状地河川における砂防調査と計画－2016 年台風 10 号によるペケレベツ川を例に－

17 : 05～17 : 10 閉会